

大船渡中学校統合改修（建築・機械設備）工事 特記仕様書

I. 工事概要

| | |
|-------------|--------------------|
| 1. 工事場所 | 岩手県大船渡市大船渡町字永沢94番1 |
| 2. 敷地面積 | 52,291㎡ |
| 3. 工事規模・構造等 | |

| 改修物件概要 | | | | | |
|--------|-----------|-----------|------|----------|-------|
| NO | 建 物 名 | 構造 | 階 数 | 延べ面積 (㎡) | 建設年 |
| 1 | 校舎棟(当初) | 鉄筋コンクリート造 | 地上3階 | 5424 | 1982年 |
| 2 | 校舎棟(増築) | 鉄筋コンクリート造 | 地上3階 | 766 | 1984年 |
| 3 | 屋内運動場 | 鉄骨造 | 地上1階 | 1516 | 1982年 |
| 4 | 新体育館棟 | 鉄骨造 | 地上2階 | 43 | 1984年 |
| 5 | 共用廊下棟(当初) | 鉄筋コンクリート造 | 地上1階 | 200 | 1982年 |
| 6 | 共用廊下棟(増築) | 鉄骨造 | 地上1階 | 11 | 2007年 |

Ⅱ. 建築改修工事仕様

- (4) 電気及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁情報部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築物工種編）」令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築物工種編）令和7年版（以下「標準仕様書」という。）」によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
- ・ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
- (5) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、○印の付いたものを適用する
 - 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と ※印の付いた場合は、共に適用する。
 - 3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 5) **G** [6]印は、「国等における環境物品等の製造の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の製造の推進に資する基本方針（令和4年2月25日閣議決定）」に定める特定環境物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」において公表中の品目ごとの判断決定）を満たすことを示す。

| 項 目 | 特 記 事 項 | | |
|--------|----------------------|---|----------|
| 各章共通事項 | ① 工事実績情報 システムへの登録 | ① 適用する ・ 適用しない | [1.1.4] |
| | ② 書面の書式及び 取扱い | 情報共有システムの適用及び機能要件 ② 適用する（ ・ 現場説明書による ・ ） 適用しない | [1.1.5] |
| | ③ 遠隔臨場の実施 | 遠隔臨場の適用及び実施内容 ① 適用する（ ・ 現場説明書による ・ ） 適用しない | [1.1.14] |
| | ④ 実施工程表 | 既成工期 ① 有り（ ・ 現場説明書による ・ ） 無し | [1.2.1] |
| | ⑤ 工事の記録等 | 報告に用いる書式等 現場説明書による ① 標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次に依う 「宮城工事写真撮影要領（令和5年版）による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 令和5年版版」国土交通大臣官庁官庁営繕部監修 | [1.2.4] |
| | ⑥ 電気保安技術者 | 電気保安技術者の配置 ① する しない | [1.3.3] |
| | ⑦ 施工条件 | ② 施工順序 ※現場説明書による ・ 図示による | [1.3.5] |
| | ⑧ 発生材の処理等 | ② 工事用車両の駐車場及び資機材の置場 発注者に引渡しを要するもの 現場説明書による ・ 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 現場説明書による ・ ① 現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの 現場説明書による ・ ③ 糸・カドミウム含有せこうボードの処理方法 現場説明書による ・ ④ 糸及びび糸・カドミウムを含まないせこうボードの処理方法 現場説明書による ・ ⑤ POB含有シーリング材の分析調査及び撤去 現場説明書による ・ 特別管理産業廃棄物の分析調査 現場説明書による ・ ② 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 | [1.3.12] |
| | ⑨ 環境への配慮 | ① 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用バネ鋼、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-nブチル及びフタル酸ジ-2-エチル-nヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 | [1.4.1] |

- (1.4.2) [1.4.2]

材料の品質等

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に關する資料の提出を求める材料

床型採用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材既調合モルタル（タイル工事用）、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリアークセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、喫食用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた

・ 石綿含有建材の調査

調査 [1.5.1]

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

資与資料（「 asbestos 関係材料調査票」 ・ 既存図面 ）

・ 分析による石綿含有建材の調査

分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソファイト、クリンソイル、クロソドライト、トレモライト

分析方法

| 材料名 | 定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2) | 定量分析方法 (JIS A 1481-3)、(JIS A1481-4) または (JIS A 1481-5) |
|--------|--|--|
| | - (箇所) | - (箇所) |
| - (箇所) | - (箇所) | - (箇所) |
| - (箇所) | - (箇所) | - (箇所) |

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所 ・ 図示による ・

○ 施工調査

○ 施工数量調査の範囲及び調査方法 [1.6.2]

・ 図示による ○ 検査・共同調理場の外壁面（見上げ面も含む）

・ 調査のための破壊部分の修繕 [1.6.3]

・ 図示による ・

○ 技能士

適用する技能検定の職種及び作業の種類は下表による。(1.5.2) [1.7.2]

| 適用工事種別 | 職 種 | 技能検定の作業の種類 |
|------------------------------|-----------------------|---|
| 仮設工事 | 土工 | ◎土留め作業 |
| 鉄筋工事 | 鉄筋施工 | ◎鉄筋組立作業 |
| コンクリート工事 | 型枠施工 コンクリート圧送施工 | ◎型枠工事作業 ◎コンクリート圧送工事作業 |
| 鉄骨工事 | 鉄 工 | ◎構造物鉄工作業 |
| コンクリートブロックALCパネル、押出成形セメント板工事 | ブロック建築 エーエルシーパネル施工 | ・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業 ・ アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ◎塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート土工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 |
| 防水工事 | 防水施工 | |
| 石 工 事 | 石材施工 | ・ 石張り作業 |
| タイル工事 | タイル張り | ・ タイル張り作業 |
| 木 工 事 | 建築大工 | ・ 大工工事作業 |
| 屋根・とい工事 | 建築板金 | ◎内外装板金作業 |
| 金属工事 | 内装仕上げ施工 | ◎裏側下地工事作業 |
| 左官工事 | 左 官 | ◎左官作業 |
| 建具工事 | サッシ施工 ガラス施工 | ◎ビル用サッシ施工作業 ◎ガラス工事作業 |
| カーテンウォール工事 | カーテンウォール施工 | ・ 金属製カーテンウォール工事作業 |
| 塗装工事 | 塗 装 | ◎建築塗装作業 ◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ◎カーペット系床仕上げ工事作業 ◎木質系床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 |
| 内装工事 | 内装仕上げ施工 | |
| 排水工事 | 表 装 配 管 | ◎壁装作業 ・ 建築配管作業 |
| 舗装工事 | 路面標示施工 | ・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業 |
| 造園工事 | 造 園 | ◎造園工事作業 |

※技能士の適用については、当該地域に十分な登録者がいることを確認すること。

・ 施工の検査等

見本施工の実施 [1.7.5]

・ 適用する（適用箇所） ・ 現場説明書による （ ）
・ 適用しない

○ 化学物質の濃度測定 (1.5.10) [1.7.10]

1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エテルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

2) 測定箇所数：16カ所 位置は監督員の指示による。

3) 測定方法は、パッシング型採取器による。

4) 測定結果の報告は、現場説明書による。

- | <p>中間技術検査</p> <p>○ 完成図等</p> | <p>・ 中間技術検査の実施</p> <p>・ 実施回数() 回</p> <p>・ 実施する段階()</p> <p>○ 完成時の提出図書</p> <p>・ 1. 9. 2及び1. 9. 3による</p> <p>○ 完成図の種類及び記入内容</p> <p>・ 表1. 9. 1による</p> <p>○ 完成写真</p> <p>※工事完成時に完成写真を撮影し、監督職員に提出する</p> <p>撮影箇所及び提出サイズ、仕様</p> <p>※監督員の指示による</p> <p>本工事完成1年後の経年検査</p> <p>・ 有り ○ 無し</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----------------|----|------|-----|---|-----------------|-----------------|-----|---------------------------------|------|---------|-----|-------|--|--|
| <p>・ 騒音・粉じん等の対策</p> <p>○ 足場等</p> | <p>・ 防音パネル</p> <p>・ 防音シート</p> <p>防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲</p> <p>・ 図示による</p> <p>[2. 1. 3]</p> <p>[2. 2. 4][表 2. 2. 1]</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場</p> <p>○設置する</p> <p>(設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・図示による ・)</p> <p>・設置しない</p> <p>防護シート</p> <p>・設置する</p> <p>(設置範囲 ・工事に必要な範囲 ・図示による ・)</p> <p>○設置しない</p> <p>内部足場</p> <p>○設置する</p> <p>(※脚立、足場板等 ・)</p> <p>・設置しない</p> <p>○材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別(・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種)</p> <p>C種：利用可能なエレベーター (・図示による ・)</p> <p>D種：利用可能な階段 (・図示による ・)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 既存部分の養生</p> | <p>養生方法等</p> <p>[2. 3. 1]</p> <p>○既存部分</p> <p>養生方法（※ビニルシート、合板 ・ ）</p> <p>○既存家具、既存設備等</p> <p>養生方法（※ビニルシート等 ・ ）</p> <p>○既存ブラインド、カーテン等</p> <p>養生方法（・ビニルシート等 ・ ）</p> <p>保管場所（・図示による ・ ）</p> <p>・固定された備品、机、ロッカー等の移動</p> <p>・図示による</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 仮設間仕切り</p> | <p>仮設間仕切り及び仮設屏の設置箇所</p> <p>[2. 3. 2][表 2. 3. 1]</p> <p>・図示による</p> <p>仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>仕上げ（厚さmm）</th><th>塗装</th><th>充填</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td><td>○せつこうボード 種類○普通せつこう () 厚さ(・ mm ※9.5mm)</td><td>○無し ・片面 ・</td><td>グラスウール 厚さ mm</td></tr> <tr> <td>○B種</td><td>・合板 材種(・) 厚さ(・ mm ※9mm)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>※C種</td><td>防護シート</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> | 種別 | 仕上げ（厚さmm） | 塗装 | 充填 | ・A種 | ○せつこうボード 種類○普通せつこう () 厚さ(・ mm ※9.5mm) | ○無し ・片面 ・ | グラスウール 厚さ mm | ○B種 | ・合板 材種(・) 厚さ(・ mm ※9mm) | | | ※C種 | 防護シート | | |
| 種別 | 仕上げ（厚さmm） | 塗装 | 充填 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・A種 | ○せつこうボード 種類○普通せつこう () 厚さ(・ mm ※9.5mm) | ○無し ・片面 ・ | グラスウール 厚さ mm | | | | | | | | | | | | | | |
| ○B種 | ・合板 材種(・) 厚さ(・ mm ※9mm) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※C種 | 防護シート | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 監督職員事務所等</p> | <p>仮設間仕切りに設ける仮設屏の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th><th>仕上げ</th><th>塗装</th><th>設置箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td><td>※合板張り程度</td><td>○無し</td><td>・ かつ</td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・ 片面</td><td>・ 図示による</td></tr> </tbody> </table> <p>仮設建物 ・設置する ○設置しない</p> <p>規模、仕上の程度</p> <p>・現場説明書による</p> <p>設備</p> <p>※監督職員との協議による ・現場説明書による</p> <p>備品等の種類及び数量</p> <p>・現場説明書による</p> | 材質 | 仕上げ | 塗装 | 設置箇所 | ※木製 | ※合板張り程度 | ○無し | ・ かつ | ・ | ・ | ・ 片面 | ・ 図示による | | | | |
| 材質 | 仕上げ | 塗装 | 設置箇所 | | | | | | | | | | | | | | |
| ※木製 | ※合板張り程度 | ○無し | ・ かつ | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ | ・ 片面 | ・ 図示による | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 工事用水</p> | <p>構内既存の施設</p> <p>・利用できない</p> <p>○利用できる(○有償 ・無償)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 工事用電力</p> | <p>構内既存の施設</p> <p>・利用できない</p> <p>○利用できる(○有償 ・無償)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・ 施工数量調査</p> <p>○ 降雨等に対する養生方法（とい共）</p> <p>○ 既存防水の処理</p> | <p>調査範囲</p> <p>[1. 6. 2. 3]</p> <p>・図示による</p> <p>調査方法</p> <p>・図示による</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法</p> <p>・図示による</p> <p>調査報告書（提出部数 ・2部 ・ ）</p> <p>※改修標準仕様書3. 1. 3(5) ⑦～⑨による</p> <p>[3. 1. 3]</p> <p>既存保護層の撤去</p> <p>[3. 1. 4] [3. 2. 3. 4. 6]</p> <p>・行う（範囲 ・図示による ・ ）</p> <p>・行わない</p> <p>既存防水層の撤去</p> <p>○行う（範囲 ○図示による ・ ）</p> <p>・行わない</p> <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去</p> <p>・行う（・MAS ・MAS1 ・MAC ・M40 ・L40）</p> <p>・行わない</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

- | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|---------------------------------|---|--------------------------|----------------------|--|--|--|
| ○ 既存下地の処理 | 既存下地の修繕箇所の形状、長さ、数量等 | | [3. 2. 5] [3. 2. 6] | | | | | | |
| | POS工法及び[POS]工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ・ 図示による | | | | | | | | |
| ・ アスファルト防水 | 設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※監督職員と協議する ・ 図示による | | | | | | | | |
| | 屋根保護防水（既存） 新設防水層の種別 | | [3. 3. 2～5] [表3. 3. 3～3. 3. 10] | | | | | | |
| 改質工法 新設種別 施工箇所 断熱材 [G] 絶縁用シート | | | | | | | | | |
| ・ P2A | ・ A-1 | | | ※8「アスファルト」 厚さ0.15mm以上 又は「フラット」 70g/m程度 | | | | | |
| | ・ A-2 | | | | | | | | |
| | ・ A-3 | | | | | | | | |
| ・ B-1 | ・ B-1 | | | | | | | | |
| | ・ B-2 | | | | | | | | |
| ・ P1B | ・ A-1-1 | | (種類) | ※フットコート 70g/m程度 | | | | | |
| | ・ A-1-2 | | | | | | | | |
| | ・ A-1-3 | | | | | | | | |
| ・ P1B I | ・ B-1-1 | | (厚さ) (mm) | ・ | | | | | |
| | ・ B-1-2 | | | | | | | | |
| 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ | | | | | | | | | |
| ※改修標準仕様書表3. 3. 3及び表3. 3. 9による | | | | | | | | | |
| ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ | | | | | | | | | |
| 用途による区分 | | | | | | | | | |
| 材料による区分 | | | | ※R種 | | | | | |
| 厚さ ()mm以上 | | | | | | | | | |
| 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ | | | | | | | | | |
| ※改修標準仕様書表3. 3. 3、表3. 3. 4、表3. 3. 8及び表3. 3. 9による | | | | | | | | | |
| 用途による区分 | | | | | | | | | |
| 材料による区分 | | | | ※R種 | | | | | |
| 厚さ ()mm以上 | | | | | | | | | |
| 平場の保護コンクリートの厚さ及び上りの平坦さ | | | | | | | | | |
| 仕上 | | 保護コンクリートの厚さ | | 仕上りの平坦さ (表8. 1. 5より) | | | | | |
| こて仕上 | | ※水下 80mm以上 | ・ | ・ a 種 | | | | | |
| 床タイル張り | | ※水下 60mm以上 | ・ | ・ c 種 | | | | | |
| 立上り部の保護工法 | | | | | | | | | |
| ・ 乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による） | | | | | | | | | |
| 窓系系パネル I 種（厚さ (mm) 幅 (mm)） | | | | | | | | | |
| ・ れんが押え (※JIS R 1250) | | | | | | | | | |
| ・ コンクリート押え | | | | | | | | | |
| ・ モルタル押え（屋内） | | | | | | | | | |
| 屋根露出防水（既存） 新設防水層の種別 | | | | | | | | | |
| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 断熱材 [G] | 仕上塗料 | | 高日射 反射率 防水 [G] | 備考 | | |
| | | | | 種類 | 使用量 | | | | |
| ・ M4C | ・ C-1 | | | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ・ 適用する | | | |
| | ・ C-2 | | | | | | | | |
| | ・ C-3 | | | | | | | | |
| | ・ C-4 | | | | | | | | |
| ・ M3D ・ P0D | ・ D-1 | | | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ・ 適用する | 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない | | |
| | ・ D-2 | | | | | | | | |
| | ・ D-3 | | | | | | | | |
| | ・ D-4 | | | | | | | | |
| ・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1 | ・ D1-1 | 改修標準仕様書3. 3. 2(9) | (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ※7「アスファルトルーフィング」類の製造所の仕様 | ・ 適用する | 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない | | |
| | ・ D1-2 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ | | | | | | | | | |
| ※改修標準仕様書表3. 3. 9による | | | | | | | | | |
| ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

[illegible]